

第3回 日本体育・スポーツ・健康学会 若手の会セミナー

アーリーキャリアの過ごし方と必要なサポートー 博論・就職・テニユア

●セミナースケジュール

13:00～	開始・趣旨説明・演者の先生方のご紹介
13:10～14:30	演者の先生方のご講演
14:40～15:00	パネルディスカッション
15:00～15:20	フロアとの質疑応答
15:30～16:00	グループディスカッション
16:00～	閉会挨拶

●演者

小口 貴久	(公益財団法人日本オリンピック委員会)
小倉 かさね	(順天堂大学)
木村 駿介	(静岡産業大学)
中西 紘士	(広島修道大学)
野上 玲子	(江戸川大学)

開催日時：2023年3月19日（日）13:00～16:30

会場：順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス 10号館105カンファレンスルーム ・ Zoom

方式：ハイブリッド形式

主催：日本体育・スポーツ・健康学会若手研究者委員

コーディネーター：雨宮 怜（筑波大学）・平塚卓也（関西福祉大学）・藤川和俊（帝京平成大学）

問い合わせ先：平塚卓也（hiratsuka@kusw.ac.jp）

申し込み先：<https://forms.office.com/r/hjF9kNTWtX>

参加希望の方は、3月16日（木）までに上記URLまたはQRコードよりお申し込みください。期日までにZoom参加の申し込みをされた方にのみ、ZoomのミーティングIDと、パスコードをご連絡いたします。なお、定員に達した場合、期日前に締め切る場合がございます。オンデマンド配信はございません



【演者プロフィール】

小口 貴久（公益財団法人日本オリンピック委員会）

小学5年生からリュージュを始めて、信州大学大学院在学時にソルトレイク2002冬季オリンピックに出場。大学院修了（教育学）後、トリノ2006、バンクーバー2010の2大会に出場。専門はバイオメカニクス、コーチング、スポーツ情報戦略、オリンピズム。引退後、日本オリンピック委員会での業務を担当しながら日本体育大学大学院博士課程修了（コーチング学）。現在は日本オリンピック委員会にて選手の強化・育成に関わるJOCエリートアカデミー事業ディレクターを担当。JOCアスリート委員、日本氷上スポーツ学会理事、日本オリンピックアカデミーセッション委員会副委員長、日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟医・科学および指導者養成部員。



小倉 かさね（順天堂大学）

順天堂大学 リサーチ・アドミニストレーター（URA）。スポーツ科学部在学中に学生トレーナーとして活動する中で代謝学に興味を持ち医学研究科に進学。修士・博士課程、研究員を経て、筑波大学体育系ヒューマン・ハイ・パフォーマンス先端研究センターのURA（研究員）として研究支援者としてのキャリアをスタート。大型研究プロジェクト獲得やその運営、国内外の他機関・企業等との連携・共同研究の推進、国際フォーラムの企画運営などに携わりました。現在、順天堂大学のURA（高度学術専門職員）として、研究費申請支援や、研究ブランディング（特にスポーツ医学関連分野）、産官学連携・地域連携等の支援を行っています。



木村 駿介（静岡産業大学）

研究テーマは「アスリートの挫折体験」や「共食（きょうしょく）の心理的効果」について。立教大学大学院在籍時には、博士課程前期課程の時に公益財団法人日本ラグビーフットボール協会にも所属し、男子7人制アシスタントマネージャーやU20歳日本代表チームマネージャーを担当。博士課程後期課程在籍時には中高一貫校ラグビー部の外部指導者としてコーチや監督を勤めた。また、埼玉県中学校選抜のコーチも経験した。博士号取得後には半年間のフリーター生活を経て立教大学教育研究コーディネータ（助手に相当）。2022年度より現職である静岡産業大学スポーツ科学部専任講師に着任。



中西 紘士（広島修道大学）

専門は「体育科教育」と「カリキュラム研究」。大学卒業後、公立小学校の教員を12年、広島大学附属小学校体育科を5年、環太平洋大学准教授で4年の勤務を経て現職に至る。広島大学附属小学校時代に博士課程前期を修了し、環太平洋大学で勤務しながら博士課程後期に進学、博士号を取得した。体育科教育の中でも、陸上運動領域や器械運動領域を中心にカリキュラム研究を行っている。広島県内を中心に多数の小学校に講師として関わりながら、現職の先生達と共に体育の授業改善、教材開発に取り組んでいる。



野上 玲子（江戸川大学）

東京都出身。福岡大学スポーツ科学部卒業後、同大学院修士課程を修了し、福岡大学スポーツ科学部助手、教員として福岡県の中学校に勤務。その後、結婚、夫の仕事を機に帰京し、出産。子どもが4歳になるタイミングで日本体育大学大学院博士課程に入学し、東京学芸大学特任講師の仕事をしながら、博士号（体育科学）を取得。その後、日本女子大学助教を経て、2022年より江戸川大学社会学部講師として現在に至る。専門分野は、「体育・スポーツ哲学」、「オリンピック研究」。大学では、「スポーツ社会学（公共スポーツ）」を担当し、他大学にて「スポーツ哲学」、「健康スポーツ論」を担当。

